



令和8年度

# 明善中グランドデザイン

〒399-0021  
松本市寿豊丘 812-1  
TEL 0263-86-0044  
FAX 0263-85-1442

## 学校教育目標

誠意・善意・創意に満ちた 心身ともにたくましい人間の育成

## 《めざす生徒像》(伸ばす資質・能力) 「自ら」「もとめ」「つなぐ」生徒

### 自ら行動する生徒

自分の頭で考え、自ら判断して行動する生徒  
(主体性、自主性)

- 生徒自身が選択、自己決定できる場の設定
  - ・問題解決に向けた方法・やり方を生徒が選択し、自分で決められるような学習の場を設定する。教科書を読んでまとめる、タブレットを使ってまとめる、友と相談しながら進めるなど、自身が選んだ方法で学べる場を設定していく。
  - (授業、総合、生徒会、学活等)→自由進捗学習へ
- 「生徒に任せ、教師は見守り」場面の設定
  - ・学年行事など自分たちで計画し作り上げ、実行していく体験を増やしていく。教師は見守り、調整役。
  - 小さな活動→大きな活動へ。スモールステップで体験を積み上げる。
  - ・「自分たちで作り上げた、できた」という達成感、成就感が持てるような教師の評価、自己評価
- 生徒自らの手で作り上げる生徒会活動
  - ・自分たちの生活を見直し、目的やねがいを明確にして生活しやすいルールや活動を考えていく生徒会。
- 自分のやりたいこと、興味のあることに対して、自ら求め、探究的に学んでいく場の設定
  - ・自身のやってみたいことに対して、とことん追究し、やりきることのできる場を増やしていく。
- 生徒の主体的な取り組み、工夫に目を向け、評価する教師の関わり

### 解決をもとめる生徒

自己調整しながら、問題を解決する生徒  
(自己調整力、問題解決力)

- 自分の課題を持ち、課題解決のための方法、戦略を練って、解決に向けて取り組む場の設定
  - ・学習だけでなく、清掃、学級活動、学年行事、部活動等においても、自身の課題を明確にして、その課題解決のための戦略・方法を考え、取り組む場面を増やしていく。
- 「学び方を学ぶ」場面の設定
  - ・「計画」→「実行」→「評価」の学び方を確かめる学習サイクルを繰り返し、自分に合った学習方法を追究していく場面の設定。自分なりの方法で学習を行い、その結果から、その学習方法が適切なものであったかを振り返り、次回の学習方法に生かしていく。
  - ・家庭学習、試験前学習にも「学び方を学ぶ」サイクルを位置づけ、課題解決のための計画を立て、自分の考えた方法で学習していく「自律的な学び」の実現を図る。
- 総合的な学習の時間での「探究な学び」の実現
  - ・「課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現」のサイクルを意識し、生徒自身が課題解決をもとめていく。決まったものをやる、与えられたものを行うのではなく、自ら調べたい、探してみたいと、自ら求めていく探究学習にしていく。

### 自分と周りをつなぐ生徒

自分を表現し、温かい人間関係をつくっていく生徒  
(コミュニケーション力、協働する力)

- 互いに支え合い・認め合う人間関係づくり
  - ・多様性を受け入れ、生徒の思いを受け止める温かい教師の関わり →教師との温かい信頼関係づくり
  - ・個の持ち味を生かし、集団に貢献できる役割の設定
  - ・互いの違いを理解し、他のよさを認め合う学級集団づくり
- 相手を意識した「話す・伝える」場面の設定
  - ・生徒会放送、生徒集会、全校集会、学年集会等で「何を伝えたいか」「どうすれば伝わるか」を意識した発表、発信場面の設定
- 仲間と話し合い、協力して、協働的に問題解決する場面の設定
  - ・ペア、グループ等で協働して解決する場面を設定し、グループで話し合い、協働して追究し、その結果を発表・表現していくような学習過程を仕組んでいく。
- 適切なコミュニケーションの方法を考える場の設定
  - ・コミュニケーションを円滑にするためにはどのような言い方、伝え方をすればよいかを考える場の設定 (SST等)
- 地域と関わり地域に貢献する場の設定
  - ・地域との関わりの中で、生徒が地域に貢献できる交流・奉仕活動の実施(「地域行事への参加」等)→「地域から必要とされる明善中生」